

授業科目	*地域福祉と包括的支援体制Ⅱ				実務家教員担当科目	-	
単位	2.	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	梶原 浩介						
授業概要	<p>地域福祉は、児童福祉や高齢者福祉などの対象者別の福祉分野に並置されるものではなく、社会福祉そのものの新しい形態や方法を意味している。本科目を通して、新しい福祉のあり方として地域福祉を捉える視点を学ぶとともに、地域福祉の主体や地域福祉の推進のための制度・仕組みについて理解を深める。</p> <p>本科目は、前期・後期に分けて講義を実施する。前期では、地域福祉の基礎概念や、民生委員、社会福祉協議会、共同募金等の地域福祉を推進する主体について学ぶ。後期では、前期の学びを踏まえ、地域福祉を推進するためのソーシャルワークを中心に学ぶ。</p> <p>従来から、社会福祉協議会等の基本的な実践技術であるコミュニティワークに加え、近年、社会的つながりの弱い人々や制度の狭間、複合課題などへの対応として重視されるようになったコミュニティソーシャルワーク(地域を基盤としたソーシャルワーク)についても学びを深める。</p>						
授業形態	講義・演習		授業方法	基本、講義形式の授業を実施します。一部、テーマに基づいてグループワーク、Google フォーム 等の ICT を活用した自主学習を取り入れます。			
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域福祉の基本的な考え方、地域福祉の主体と対象を理解する。 2. 地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。 3. 住民参加の意義と方法について理解する。 4. ネットワーキングの意義と方法及びその実際、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法と実際について理解する。 5. 福祉サービスの評価方法について理解する。 6. コミュニティワークの意義や方法等について理解する。 7. コミュニティソーシャルワークについての知識や技術等について理解する。 8. 地域福祉の課題とこれからの地域福祉のあり方について理解する。 						
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域福祉の諸課題についてを認識でき説明することができる。 2. ネットワーキングをする際に必要となる機関、団体、人について説明することができる。 3. 地域福祉の諸課題について多角的に捉えることができ問題点を指摘することができる。 4. 地域福祉に関する学説、理論、政策などについての説明ができる。 						
評価方法・評価割合							
評価方法	評価割合(数値)			備考			
試験	60%						
小テスト							
レポート	20%						
発表(口頭、プレゼンテーション)	10%			課題等に対する話し合いも含みます。			
レポート外の提出物							
その他	10%			授業中の発言・質問、参加姿勢等			
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング							

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリン グ	WE21212J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
・授業で示された文献などを読み、興味や関心、疑問点、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。										4	
授業計画											
第1回	「地域福祉」概念について										
第2回	コミュニティソーシャルワークという新たな援助実践 ? 大阪府豊中市などの事例をもとに -										
第3回	コミュニティソーシャルワークとは（1） - 理論と実践事例 -										
第4回	コミュニティソーシャルワークとは（2） - 基本的な展開プロセス1 -										
第5回	コミュニティソーシャルワークとは（3） - 基本的な展開プロセス2 -										
第6回	コミュニティソーシャルワークとは（4） - 基本的な展開プロセス3 -										
第7回	コミュニティソーシャルワーク実践を活かす視点・方法（1）										
第8回	コミュニティソーシャルワーク実践を活かす視点・方法（2） - 実践概念としての総合相談 -										
第9回	社会福祉協議会とコミュニティソーシャルワーク										
第10回	災害時における総合的かつ包括的な支援体制										
第11回	生活困窮者自立支援における新たなソーシャルワークの展開										
第12回	地域共生社会の実現と社会福祉（1） - 「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」 -										
第13回	地域共生社会の実現と社会福祉（2） - 「地域力強化検討会」と社会福祉法改正 -										
第14回	地域共生社会の実現と社会福祉（3） - 我が事・丸ごとの地域づくりの実例と地域福祉計画 -										
第15回	これからの社会福祉士の役割と地域福祉 ・授業全体のまとめを行う。										
テキスト	川村 匡由 編著『入門地域福祉と包括的支援体制』ミネルヴァ書房出版										
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	・参考文献、資料などは講義の際に適宜、情報提供する。										

<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>・授業中、テーマに基づいてグループワークで検討した内容に基づき、授業資料等を用いて振り返りをします。また、Google フォーム 等の ICT を活用した自主学習に対しては、回答例を提示します。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>・より理解を深めていくために、事前にテキストの一読やレジュメ資料による振り返り、授業中に紹介する参考図書等を一読してください。 地域福祉領域(地域の問題、行政計画等)の情報に興味関心をもってアクセスし、理解を深めてください。</p>